

平成 27 年度 大阪国際大和田中学・高等学校 学校評価実施報告

I、目指す学校像

【建学の精神】

全人教育を基礎として、礼節を重んじ、世界に通じる人間の育成。

- 豊かな人格の陶冶
- 基本的生活習慣の確立 ■ コースの特色化
- 基礎学力の養成 ■ 国際理解教育の推進
- グローバルマインドの涵養 ■ ココロの奉仕の実践

II、重点目標

1、中学改革

- ・ 行事、イベントの見直し（高校受験を意識した行事改革・学力伸長）
- ・ 特色ある教育活動を目指して（総合授業の充実）
- ・ コースの特色化・ベルリッツの導入
- ・ 「ココロの奉仕」の実践

2、募集広報改革

- ・ 募集広報室を充実化、募集広報活動の集約・一元管理・中学入学者 160 名目標

3、進路改革

- ・ 進路部を増強、個々人に応じた入試対策・学年主導體制から進路部主導の進路指導へ
- ・ 進学特色校として進学結果の向上をはかる・進路のてびきの発刊
- ・ 模試ベースの分析と研究・指定校推薦基準の明確化

4、教務改革

- ・ システム整備

教務会議の定例化による学力分析、教務主任の権限の強化、学年横断の指導体制、生徒アンケートのさらなる活用・大和田手帳の作成

- ・ 教員研修

学力向上を念頭に置いた教科内研修の充実、研究発表会と研究協議会の開催
すごい会議の開催

- ・ ICT化に向けて

ICT委員会の設立・電子黒板の導入・タブレット端末の試験運用
電子教材の研究・導入実施校における積極的研修

5、心・技・体を育む教育への取り組み

大和田マラソンの実施

大和田体操の製作・集団行動の企画

ココロの学校の定例開催と保護者向けに展開

6、その他

- ・ P T A組織の充実（委員会の発足、新聞発行、各種イベント参加）
- ・ 生徒会活性化（インターアクト活動の励行）

- ・ボランティア活動の推進（東日本大震災復興支援、野球交流など）
- ・海外語学留学の活性化（姉妹校連携、アデレード研修）
- ・ベトナム研修

Ⅲ、学校評価実施概要

1. 実施状況

(1) 学校評価各アンケートについて

対象		対象者数	回収数	回収率	実施時期
保護者	高校	847	715	84.4	28年1月
	中学	254	216	85.0	
	合計	1101	931	84.6	
生徒	高3生	319	295	92.5	28年2月
教職員	常勤・専任	62	57	91.9	28年1月

(2) 学校評価委員会について

開催日時：平成28年3月8日 10:00より

評価委員会評価委員：

- ・寝屋川市立第五中学校校長：松岡 和仁 様
- ・守口市立大久保中学校校長：東野 隆司 様
- ・守口市東公民館東地区運営委員会委員長：小野 勝幸 様
- ・大阪国際学園理事：鈴木 隆 様
- ・大阪国際大和田高等学校同窓会（三窓会）会長：岩本 和也 様
- ・大阪国際大和田中学・高等学校 PTA 会長：小鹿 一義 様

2. 評価の概要

A. 自己評価「教職員」・・・資料①

(1) 概要

教員による自己評価は、今年度も48項目を設定した。肯定的評価（A+B）が昨年度より上昇している項目は32項目で全体の67%であった。また、肯定的評価が60%未満と低い項目が4項目と全体の約8%にとどまっている点や、経年3年間連続して上昇している項目が14項目ある点は、本校の年度目標の成果のあらわれと分析する。

(2) 経年3年間連続して上昇している項目（25年度 → 26年度 → 27年度）

【本校の精神】

- ・建学の精神が学校関係者によく浸透している。〔1〕 63.2%→70.2%→76.8%

【教職員連携】

- ・教職員会議をはじめとする各種会議が機能している。〔7〕 84.2%→91.2%→92.8%

【学習指導】

- ・生徒の実態に合わせた指導方法の改善・工夫を行っている〔17〕 84.2%→91.2%→92.8%
- ・生徒は教科の学習に満足している〔18〕 78.9%→82.5%→91.1%

【情報教育】

・情報のモラル面の教育に十分に取り組んでいる。〔21〕 63.2%→64.9%→69.6%

【人権教育】

・人権尊重の教育において意識を高める教育を行っている。〔23〕 66.7%→73.7%→75.0%

【環境教育】

・身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。〔24〕 52.6%→54.4%→64.2%

【生徒会活動】

・生徒会活動を通じて生徒が主体的に活動できるよう支援している。〔29〕 75.4%→84.2%→91.1%

・ボランティア活動は活発だ。〔29〕 33.3%→61.4%→62.5%

・国際理解に対する教育活動を取り入れている。〔31〕 66.7%→75.4%→87.5%

【進路指導】

・進路の実現に向けて計画的な学習指導がなされている。〔33〕 91.2%→93.0%→94.7%

【生徒指導】

・基本的な。生活習慣の確立に努めている。〔38〕 94.7%→96.5%→100%

【生徒支援】

・カウンセリング制度があり、活用されている。〔42〕 70.2%→80.7%→85.8%

【教員研修】

・教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。〔47〕 42.1%→49.1%→55.4%

B. 学校関係者評価「保護者評価」・・・資料②（中学）資料③（高校）

（1）概要

保護者による「学校関係者評価」は全33項目の設定で、高等学校・中学校別に集計を行った。肯定的評価（A+B）が80%以上と高い項目は、中学が21項目で全体の64%であり、高校が22項目で全体の67%とどちらも昨年度を上回った。また、経年3年間連続して上昇している項目は、中学で8項目、高校では25項目にのぼり、全体の76%の項目において上昇を続けている。逆に昨年度より下降している項目は、中学で18項目なのに対して高校ではわずか3項目で、中学と高校の間に少し開きのみえる評価であった。ちなみに肯定的評価が60%未満と低い評価の項目は高校・中学ともに1項目であった。

（2）経年3年間連続して上昇している項目（25年度 → 26年度 → 27年度）

【中学保護者】**【高校保護者】**

学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。〔1〕 74.7→75.6→80.2

学校は、印刷物・ホームページ等で、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。〔2〕

82.5→83.2→85.8

お子様は、授業が分かりやすいと言っている。

お子様は、授業が分かりやすいと言っている。

〔3〕 65.2→71.1→72.5

〔3〕 67.8→73.7→77.0

<p>学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。〔5〕 75.5→77.1→84.1</p> <p>校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。〔8〕 87.5→87.6→91.2</p>	<p>学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。〔4〕 81.0→81.4→84.9</p> <p>学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。〔5〕 67.1→67.2→70.7</p> <p>校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。〔8〕 79.0→81.8→86.4</p> <p>学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。〔9〕 82.3→86.5→87.1</p> <p>学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。〔10〕 81.4→84.1→86.1</p> <p>学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。〔11〕 86.0→90.8→90.9</p> <p>学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。〔12〕 79.0→79.4→81.5</p> <p>お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。〔15〕 89.0→90.1→92.0</p>
<p>学校の生徒会活動は活発だと思う。〔16〕 75.0→79.4→80.6</p>	<p>学校の生徒会活動は活発だと思う。〔16〕 67.4→69.0→70.4</p> <p>学校の部活動は活発だと思う。〔17〕 68.3→68.5→68.3</p> <p>学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。〔18〕 69.5→76.8→79.6</p> <p>学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。〔19〕 80.7→81.0→82.4</p> <p>学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は、充実していると思う。〔20〕 81.6→82.4→83.9</p> <p>大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。〔21〕 77.6→79.4→82.9</p>
<p>学校は、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとしている。〔22〕 69.0→69.3→72.3</p>	<p>学校は、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとしている。〔22〕 69.2→72.3→72.9</p> <p>学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。〔23〕 87.4→87.9→89.0</p> <p>先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。〔24〕 85.1→85.7→88.6</p>
<p>学校でのPTA活動は活発である。〔29〕 65.2→74.8→79.0</p>	<p>先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。〔26〕 74.2→78.0→80.3</p> <p>学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。〔27〕 64.1→64.3→66.3</p>

学校のPTA活動には参加しやすい。〔30〕	事務職員の保護者への対応はよい。〔28〕
48.9→54.6→54.8	87.1→89.5→93.1
	本校のホームページを御覧になったことがある。
〔31〕	80.7→82.5→83.6
	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っ
ている。〔32〕	78.9→79.0→83.0
	お子さまを、大和田高校に入学させてよかったと
思う。〔33〕	84.6→85.7→88.2

C. 学校関係者評価「高3生徒アンケート」・・・資料④

(1) 概要

高校3年生を対象とした「生徒アンケート」は全30項目の設定としている。肯定的評価(A+B)80%以上と評価の高い項目は15項目で、全体の50%、経年3年で上昇を続けている項目は、15項目であった。逆に肯定的評価が60%未満の項目は2項目にとどまり、概ね生徒たちの満足度は上昇していると感じられる。

(2) 経年3年間連続して上昇している項目 (25年度 → 26年度 → 27年度)

【学校運営・教育活動】

学校の教育方針を理解している〔2〕	59.7→67.9→70.8
学校の授業は、総じて分かりやすい〔3〕	76.2→76.7→83.8
学校は、学力向上に取り組んでいる〔4〕	83.5→89.9→92.4
学校は、わからなかったときの補習、質問指導に熱心である〔5〕	83.1→87.7→94.5

【生徒指導】

先生は、いじめや暴力のないクラスづくりに取り組んでいる〔8〕	72.7→81.6→83.7
先生は、生徒の間違った行動を改めるように指導している〔10〕	84.8→88.0→92.2

【課外活動】

文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している〔13〕	79.2→84.3→86.9
学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいる〔16〕	67.1→68.9→79.5
学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいる〔17〕	74.0→76.4→79.6
学校の文化行事(芸術鑑賞・講演会等)は、充実している〔18〕	62.8→63.7→74.8

【教員】

困ったとき、相談をしたり手助けしたりしてくれる先生がいる〔24〕	79.2→85.4→88.2
----------------------------------	----------------

【施設】

学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる〔25〕	54.5→55.4→58.0
----------------------------	----------------

【事務室】

事務室での手続きや相談の対応は、親切である〔26〕	76.6→82.4→88.5
---------------------------	----------------

【その他】

保健室での処置や相談の対応は、親切である〔27〕	35.1→53.2→60.9
大和田高校に入学してよかったと思っている〔30〕	77.5→80.1→83.1

3、学校評価委員会報告

A. 評価委員会概要

学校関係者アンケート評価結果、及び、年度総括に関する報告を行い、それに基づき、以下の項目に関して評価委員の皆様疑問点についての質問やご高評をいただいた。これまで気が付かなかった方法論やアドバイスなど、貴重なご意見をいただいた。

B. 項目別評価内容

(1) 教育活動等について

- ・生徒の学力実情に合わせた指導法の確立ができてきている。
- ・ココロの学校は続けるべき
- ・副担の位置づけ、役割に関するシステム化。
- ・学校からの情報を確実に家庭に届ける方法（担任力・ホームページ活用法など）

(2) 生徒指導について

- ・遅刻を減少させることへの意識改革がなされ、遅刻数が激減している。
- ・挨拶ができる生徒が増えてきている。

(3) 評議会の役割

- ・教員には浸透していないのが現状。

(4) 高大連携に関して

- ・質問項目の表記に関して、併設大学への進学を意味するのか、施設や人の活用という面なのか、明確化させるべき。
- ・校内研修に大学の教授をお招きできないか。
- ・小中一貫教育を参考に、大学教授による出張講義など計画してはどうか。

(5) 地域交流について

- ・公立中の校区に私学の中学校がある、という点を活かし情報交換や教員間・生徒間交流ができないか。

(6) 教員研修について

- ・研修が行われやすい体制。

(9) 保健室の対応について

- ・生徒指導部会に養護教諭が参加すれば情報共有可能。
- ・生徒の保健室利用状況を統計化することも有効。

(10) その他

- ・総合学習（中学）の内容が充実している点が良い。

IV 平成27年度の取り組み内容及び自己評価

重点目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
学校運営と教育活動	建学の精神の周知と改革のアピール	<ul style="list-style-type: none"> 一層のわかりやすい授業に取り組む ホームページの充実を図る 保護者への生徒本意の改革について一層の理解を求める 	肯定的回答（A+B）の値が70パーセンを越えていること。また、限りなくAの評価の数値を高めることを評価指標と考え、生徒、保護者の満足度を高める努力をする。また、否定的回答（C+D）を本校の問題点と認識し、数値を20%以下に低めるように努めることとする。	この領域は、まだまだ改善の必要などところが多々存在するところであり、評価Cの%の値が10から20ポイントあることを課題として対策をとる必要がある。保護者への文書等については保護者の理解は高い。
生徒指導の充実	いじめの撲滅と人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 学校いじめ防止基本方針を遵守する 生徒の人間関係の構築をサポートする 携帯電話の指導についてより徹底した指導をおこなう 家庭との連絡を密にする 		この領域についてはA、Bの評価が高いところであるが、Cの評価も高いところもあり、更に取り組みを強化する必要がある。
生徒会・課外活動の活性化	生徒会活動の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭や体育祭を生徒主導で運営させる 国際理解教育の一層の浸透を図る 「ココロの学校」を更に推進する 部活動の活性化 		生徒会活動や部活動については評価があまり高くないのが現状である。如何にして高い評価を得るかということに更に取り組み必要がある。「ココロの学校」に対する評価は極めて高いので、引き続き充実を図っていきたい。
進路指導の充実	生徒の進路実現に教員が一丸となって取り組む	国公立や難関私立大学への進路実現を一層強化する		難関私大から国公立大学への志望が多くなっている現状から、生徒の進路実現に向けて教員が一丸となり、取り組みたい。
教員の対応・資質向上	きめ細かい保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> 授業に対する一層の工夫に努める 積極的な保護者対応に努める 		保護者対応については、日常の仕事でありきめこまやかな対応が求められるものであり、数値的には変動の中が毎年大きい部分である。ABの評価を更に高めていくことが、募集対策に直結する。
P T A の 活 性 化	P T A 活 動 の 活 性 化	参加しやすいP T AにするためにP T A行事への参加者を増やす		P T Aに対する保護者の評価はかなり低いのでP T Aを参加しやすい組織へ変えていくための対策を役員方と検討中である。
学校満足度	生徒の満足度をさらに高める	生徒の満足度を80%以上にする		中学校は90%、高校は80%以上の満足度を維持できていることは、一定の評価を保護者からもいただいていると評価できる。
施設・設備	学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境の整備に努める 老朽化対策にタイムリーに対応する 		本校は小さい学校であり、施設設備については例年評価があまり高くないのが現状であり、生徒の満足度を高めるために整備できるところは適宜対応していく。